

令和5年11月6日
愛媛大学

愛媛大学ミュージアム 「発掘 文京の顔 展」記念講演会を開催

愛媛大学ミュージアムでは、愛媛大学、松山市文化・スポーツ振興財団連携事業特別企画展「発掘 文京の顔 展」の一環として、東京大学名誉教授の設楽博己氏を講師としてお招きし、記念講演会「分銅形土製品とは何かー顔の考古学視点からー」を開催します。

本講演会では、「顔の考古学」の視点に照らして、分銅形土製品にどのような読み解きができるのか、参加者の皆様と一緒に考えます。

つきましては、地域へ広く周知いただきますとともに、取材くださいますようお願いいたします。

記

- 日 時：令和5年11月18日（土）13：30～15：00
- 会 場：愛媛大学南加記念ホール（松山市文京町3番）
- 定 員：250人（参加費無料）
- 内 容：申込方法及び詳細については、別紙をご参照ください。
- 申込期限：令和5年11月14日（火）

【取材申込について】

取材いただける場合は、11月17日（金）15時までに、以下お問い合わせ先にご連絡ください。

※送付資料2枚（本紙を含む）

本件に関する問い合わせ先

愛媛大学ミュージアム 受付

TEL：089-927-8293

Mail：museum@stu.ehime-u.ac.jp



発掘 文京の顔展

まなざしから弥生人の想いに迫る



【記念講演会】

分銅形土製品とは何か — 顔の考古学の視点から —



分銅形土製品は、弥生時代の中国地方を中心にたくさんつくられた土製品です。その用途や系譜についてはわからないことが多く、これまでいろいろな説がたてられてきました。その中で注目されているのは、縄文時代の土偶とのかかわりです。この講演では“顔の考古学”の視点に照らして分銅形土製品にどのような読み解きができるのか、皆さんと一緒に考えてみようと思います。

設楽博己



設楽 博己 (したら ひろみ) 考古学者

1956年 群馬県生まれ
1978年 静岡大学人文学部卒業
1986年 筑波大学大学院歴史人類学研究科博士課程単位取得退学
国立歴史民俗博物館考古研究部助手・助教、
駒澤大学文学部助教授・教授を経て、
2010年 東京大学大学院人文社会系研究科教授
2022年 東京大学定年退職 東京大学名誉教授

主な著書

『弥生再葬墓と社会』 塙書房、2008
『遺跡から調べよう! (弥生時代)』 童心社、2013
『縄文社会と弥生社会』 (日本歴史私の最新講義) 敬文舎、2014
『弥生文化形成論』 塙書房、2017
『顔の考古学』 (歴史文化ライブラリー) 吉川弘文館、2020
第8回古代歴史文化賞 大賞受賞 (2022年11月)

講師 : 設楽 博己 氏 (東京大学名誉教授)

演題 : 「分銅形土製品とは何か

— 顔の考古学の視点から —

日時 : 11月18日 (土) 13時30分 ~ 15時

場所 : 愛媛大学南加記念ホール

定員 : 250名 (参加無料)

対象 : どなたでもご参加いただけます

申込 : 以下の URL または二次元コードから
お申し込みください。



<https://forms.office.com/r/hwhsK1Uc0Q>

申込締切 : 11月14日 (火)

お問合せ 愛媛大学ミュージアム (松山市文京町3)

TEL : 089-927-8293

Mail : museum@stu.ehime-u.ac.jp